

「探究的な学び」と学力との相関分析

～R6全国学調結果の検証から～

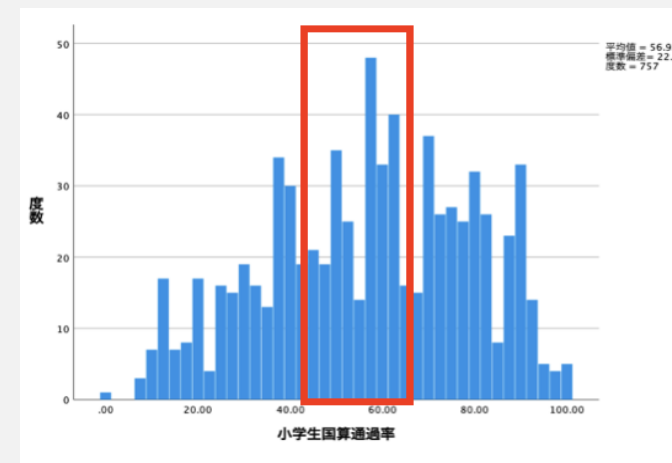
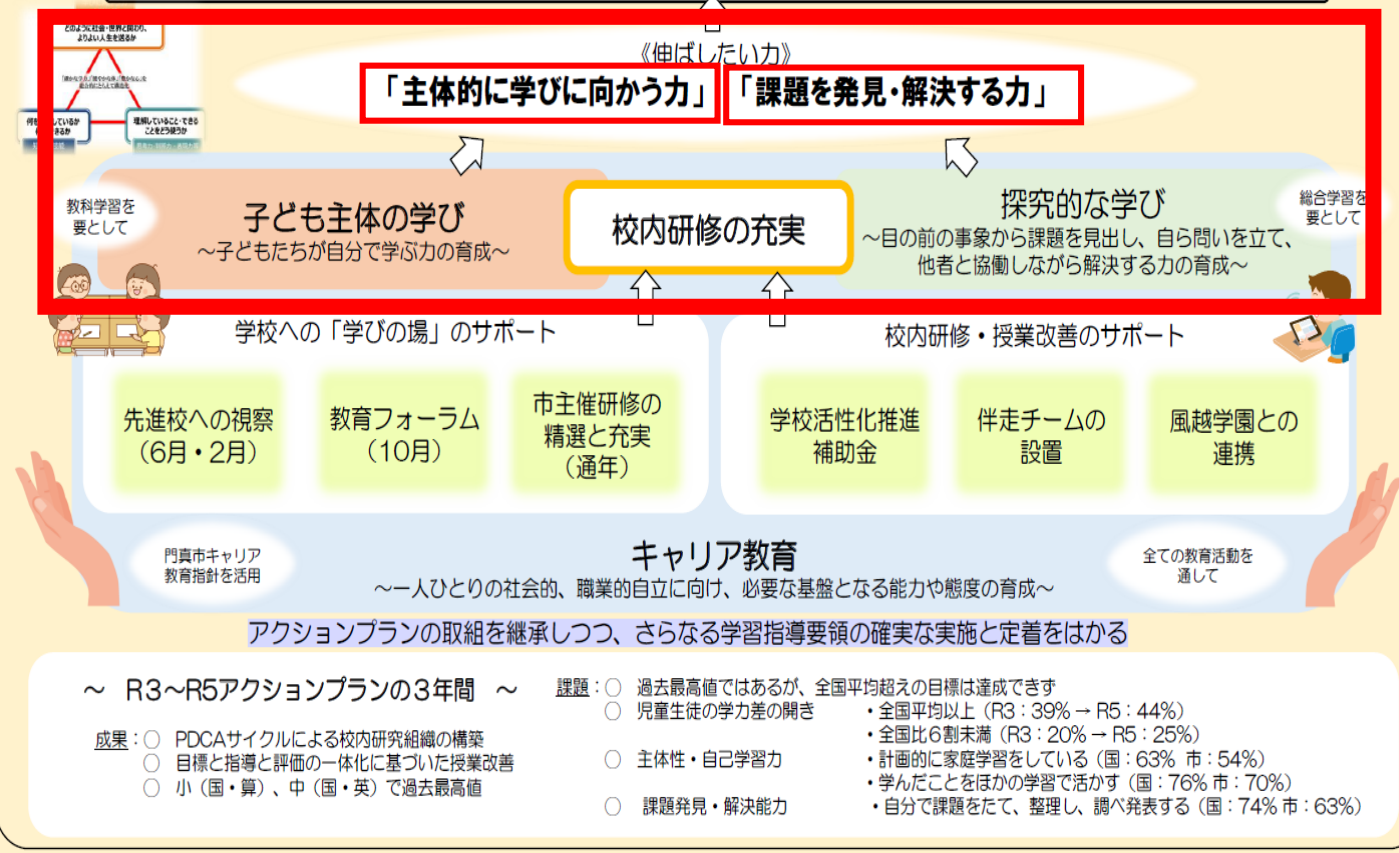
「子ども主体の学び」「探究的な学び」でどのような力を育むのか

1

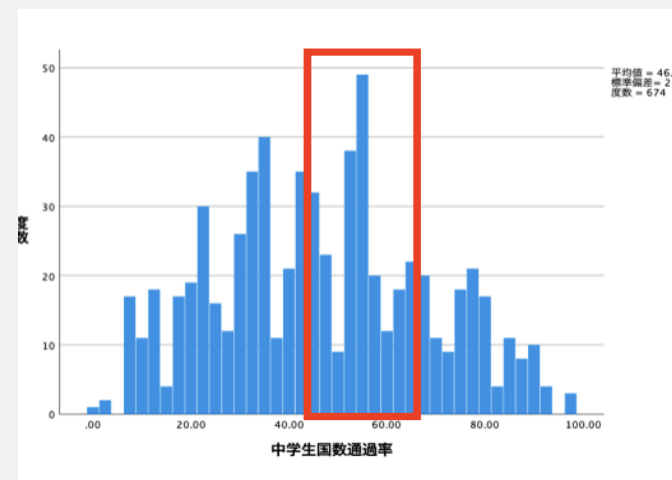
『令和の日本型学校教育』の実現

～資質・能力の育成（学力向上）の取組に関わって～

将来の自立をめざして、自分の生き方を見つける子ども（門真市教育振興基本計画2021）



（小学校国語・算数の平均通過率の分布図）



（中学校国語・数学の平均通過率の分布図）

取り組みの見取りと授業改善の方向性

項目	分類
①授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている	個別最適
②学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	協働学習
③授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、活かしたりすることができる。	自己調整・深化学習
④分からないことや、詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することができる。	自己調整
⑤授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	自己調整・深化学習
⑥総合的な学習の時間では、自分で課題をたてて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	自己調整・深化学習・個別最適
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	深化学習

R6全国学力・学習状況調査の分析結果(松宮 新吾 氏)

小

属性	関連数	構成比率
個別最適	4	20.0
協働学習	3	15.0
自己調整	5	25.0
深化学習	2	10.0
ICT活用	5	25.0
その他(SES)	1	5.0
計	20	100.0

(小学校通過率と属性要因の出現率)

属性	関連数	構成比率
個別最適	3	23.1
協働学習	2	15.4
自己調整	4	30.8
深化学習	2	15.4
ICT活用	1	7.7
その他(SES)	1	7.7
計	13	100.1

(中学校通過率と属性要因の出現率)

小学校	非標準化係数B	標準誤差	標準化係数 β	t値	有意確率
(定数)	18.645	5.298		3.520	0.000
自己調整得点	-2.829	1.906	-0.066	-1.484	0.138
個別最適得点	0.767	2.539	0.021	0.302	0.763
協働学習得点	5.707	2.045	0.160	2.790	0.005
深化学習得点	4.984	2.124	0.139	2.347	0.019
ICT得点	0.052	2.148	0.001	0.024	0.981
社会経済地位得点	3.920	0.603	0.227	6.496	0.000

(小学校の通過率と学習6要因との因果関係)

中学校	非標準化係数B	標準誤差	標準化係数 β	t値	有意確率
自己調整得点	6.822	1.710	0.234	3.989	0.000
個別最適得点	1.324	2.823	0.037	0.469	0.639
深化学習得点	-4.841	3.300	-0.131	-1.467	0.143
協働学習得点	0.914	1.435	0.031	0.637	0.524
ICT活用得点	4.542	2.094	0.143	2.168	0.031
社会経済地位得点	3.032	0.629	0.183	4.818	0.000

(中学校の通過率と学習6要因との因果関係)

「探究的な学び」を推進している学校における、7つの指標の国・府との比較

項目	国平均	府平均	A 小	B 中
①授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている	小：84.3 中：80.9	小：82.5 中：80.7	88.7	88.6
②学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	小：86.3 中：86.1	小：83.8 中：83.6	83.9	89.4
③授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、活かしたりすることができる。	小：83.7 中：79.0	小：81.9 中：78.5	80.6	79.9
④分からないことや、詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することができる。	小：80.7 中：78.6	小：79.4 中：79.5	79.1	75.6
⑤授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	小：81.9 中：80.3	小：80.2 中：80.3	82.3	74.0
⑥総合的な学習の時間では、自分で課題をたてて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	小：81.3 中：82.2	小：79.0 中：78.4	92.0	80.5
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	小：83.5 中：76.1	小：81.5 中：72.8	87.1	73.1



A小の取り組み① 「自由研究コンテスト」

1学期に子どもは考えたい「問い」を見つけ夏休みに研究。研究結果をプレゼン資料にまとめて発表。優秀研究者は地元のイベントで発表。



A小の取り組み② 「低学年でも探究」

生活科の時間を使い、子どもたちの「もっと知りたい」という探究心を育む授業を推進。写真は2年生「秋を見つけよう！」の様子



B中の取り組み 「ICTもフル活用し探究」

3年生「課題研究：住みよい町門真」。自分の探究課題にそって、端末を使って情報収集や分析を行う。市のホームページ等から、質問内容を協働的にブラッシュアップしている様子